

※令和8年度の推薦受付は終了しました。

令和8年4月17日

令和8年度東京科学大学挑戦的研究賞授賞候補者の推薦について（依頼）

このことについて、下記のとおり令和8年度東京科学大学挑戦的研究賞授賞候補者を募集します。別添1の推薦枠一覧を参照し、授賞にふさわしい候補者の推薦をお願いします。
なお、推薦が無い場合もその旨をお知らせください。

記

1. 目的：

新たな知の発見や創出を目指した基礎研究、未踏分野の開拓、萌芽的研究の革新的展開等に果敢に挑戦している独創性豊かな新進気鋭の研究者を表彰するとともに研究費の支援を行う。

2. 対象者：令和8年4月1日現在 **40歳未満または博士学位取得後8年未満※**の准教授、講師又は助教

※1 産前・産後休暇及び30日以上の子育休期間・介護休業期間を取得している場合は、取得期間を考慮し、取得期間の和を繰り上げて、申請年度4月1日現在の年齢に加算した年齢未満で読み替える。

※2 2026年4月1日時点で、博士の学位を取得後に取得した産前・産後の休暇、育児休業等の期間を除くと博士の学位取得後8年未満となる者を含む。

※3 取得期間の和を年度単位に繰り上げて、博士取得後の年数から除く。

（例：6か月の育児休業を3回取得している場合は、2年度分（1年6か月→2年度）を除く）

3. 推薦人数：別添1を参照。

4. 提出書類

- ・様式1「推薦者名簿」
- ・様式2「研究計画等調書」
- ・様式3「面接日程調整表」

5. 提出期限：令和8年5月11日（月）12：00迄

6. 審査方法：リサーチディベロップメント機構長の指名する審査員による面接。面接日は様式3を参照。

7. 授賞について：

受賞者数 年間20名以内（例年10名程度）

支援研究費 1人当たり300万円以内

※選考の結果、特に優れていると評価された教員には末松特別賞を授与。

※本賞受賞者は、次年度の文部科学大臣表彰（若手科学者賞）、日本学術振興会賞の推薦の際にもその候補者として考慮される。

各資料ダウンロード：

<https://science-tokyo.box.com/s/t7n7cedrur3w5ebw6xo8c48tb4j3juc5>

提出先：

<https://science-tokyo.app.box.com/f/0d70fd518b8b4f2ea10967f449e784d2>

以上

【本件問い合わせ先】

研究推進部研究企画課総務グループ

佐々木、甲田（内線：3805）

E-mail: awards.rpd@adm.isct.ac.jp